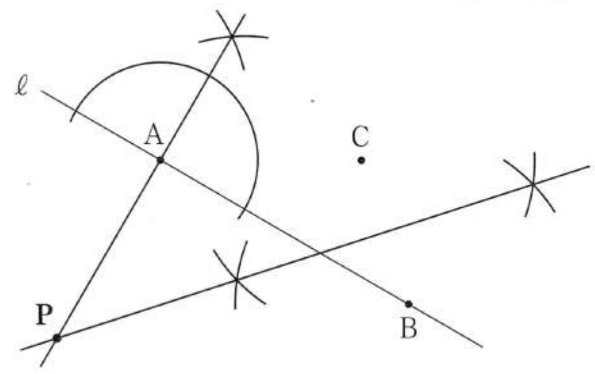
数　学　　正答及び採点基準

□は配点（合計 100）

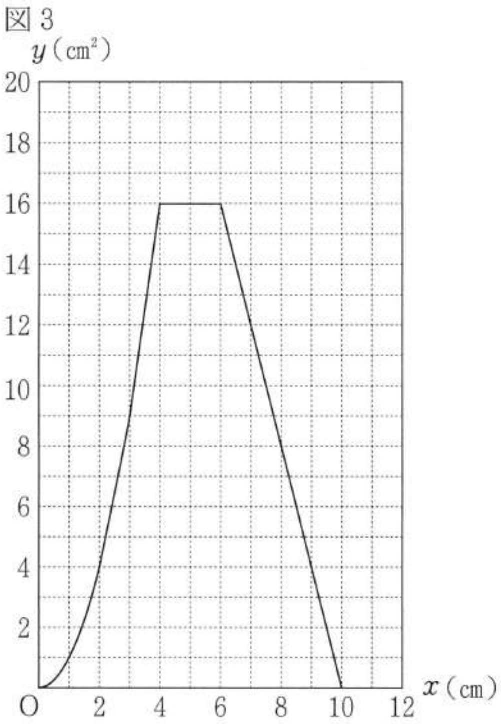
1　（32）

問		正答	配点
1	(1)	-1	3
	(2)	$\frac{7}{6}$	4
	(3)	$-24a^2b$	4
	(4)	$8+2\sqrt{3}$	4
2		$(2x-1)(x-4)=-4x+2$ (例) $2x^2-8x-x+4=-4x+2$ $2x^2-5x+2=0$ $x=\frac{-(-5)\pm\sqrt{(-5)^2-4\times2\times2}}{2\times2}$ $=\frac{5\pm\sqrt{9}}{4}$ $=\frac{5\pm3}{4}$ $x=\frac{5+3}{4}$,　$x=\frac{5-3}{4}$ $x=2$,　$x=\frac{1}{2}$ **答**　$x=2$,　$x=\frac{1}{2}$	5
3		$\frac{8}{9}$	4
4		ウ	4
5		エ	4

2　（28）

問		正答	配点
1	(1)	-3	4
	(2)	15	4
2		(例) $1000a+100b+10a+b$と表される。 このとき， $1000a+100b+10a+b=1010a+101b$ $=101(10a+b)$ $10a+b$ は整数だから，$101(10a+b)$は， 101の倍数である。	5
3	(1)	(例) 観戦する人数を x 人とする。 $3300x-4400=2700x+400$ (例) 観戦する人数を x 人，最初に持っていた金額を y 円とする。 $\begin{cases}3300x=y+4400\\2700x=y-400\end{cases}$	6
	(2)	22000　円	4
4			5

3　（20）

問			正答	配点
1	(1)		9	3
	(2)	ア	6	3
		イ	x^2	3
		ウ	$-4x+40$	3
			図3 	4
2			$\frac{14}{3}$	4

4　（20）

問		正答	配点
1		＜証明＞(例) △ＡＣＧと△ＡＤＥにおいて 共通だから ∠ＣＡＧ＝∠ＤＡＥ　……………………　① 仮定より，ＡＢ＝ＡＣ，ＡＢ＝ＡＤだから ＡＣ＝ＡＤ　……………………………　② 弧ＡＦに対する円周角は等しいから ∠ＡＣＧ＝∠ＡＢＦ　……………………　③ △ＡＢＤはＡＢ＝ＡＤの二等辺三角形だから ∠ＡＤＥ＝∠ＡＢＦ　……………………　④ ③，④より ∠ＡＣＧ＝∠ＡＤＥ　……………………　⑤ ①，②，⑤より，１組の辺とその両端の角がそれぞれ等しいので △ＡＣＧ≡△ＡＤＥ	10
2	(1)	4　cm	5
	(2)	5　：　2	5

〔**注意**〕この採点基準によって処理しがたい細部については，各学校で適正な基準を設けること。